

## 日本工学アカデミー主催 政治家と科学者の対話の会

日本工学アカデミー主催の「政治家と科学者の対話の会」(第9回)が6月5日、都内の衆議院第二議員会館で開かれ、国会議員と科学者らが意見交換を行った。

今回は「日本の行く手と材料の選択」をテーマに実施。与党の国会議員10名ほどが出席するなか、東大や大阪大、物質・材料研究機構の研究者からマテリアル科学の国内外動向や成長戦略について発表が行われた。その後の意見交換では、政府の「骨太の方針」に話が及び、元物質・材料研究機構理事長の岸輝雄氏が「今日出席された議員の皆さんは良

伊佐院議員



くご理解されている。ところが、骨太方針(原案)を読むと、誠にお粗末。具  
体性が全くない。もう一度見直したい」と発言した。

伊佐院議員